

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道55号 <small>ひわき</small> 日和佐道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自： <small>とくしまけんあなんしふくいちょうこの</small> 徳島県阿南市福井町小野 至： <small>とくしまけんかいふくぐんひわさちようきたがわち</small> 徳島県海部郡日和佐町北河内	延長	9.3km		
事業概要					
一般国道55号は、徳島市を起点に室戸阿南海岸国定公園を経て、終点高知市に至る全長215.9kmの幹線道路であり、徳島県、高知県の産業経済活動を支える大動脈であるとともに、通勤等、日常生活に欠かせない生活道路としての役割を持つ重要な路線である。日和佐道路は、地域高規格道路阿南安芸自動車道の一部を構成し、一般国道55号の異常気象時における事前通行規制の解消等の問題を解消する道路である。					
H7年度 事業化		H-年度 都市計画決定		H11年度 用地着手	
H11年度 工事着手					
全体事業費	440 億円	事業進捗率	55 %	供用済延長	0 km
計画交通量	11,000 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)1.8 (残事業)5.2	総費用： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 172/511億円 事業費：123/462億円 維持管理費：49/49億円	総便益： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 899/899億円 走行時間短縮便益：758/758億円 走行経費減少便益：114/114億円 交通事故減少便益：27/27億円	基準年： 平成16年度	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において、きゅうり、阿波尾鶏等の農林水産品の利便性向上が見込まれる） ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設（徳島赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（連続雨量300mm通行規制の解消） 他14項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見					
・本事業の推進にあたっては、一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会をはじめとする10の期成同盟会等により積極的な要望活動が続けられている。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
・東南海、南海地震による津波浸水予測区域が徳島県から発表され、緊急時における日和佐道路の役割がさらに高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・一部の用地協議難航箇所を除き、工事を全面展開している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・事業は順調に推進しており、平成18年度に部分供用、平成19年度に全線供用予定である。					
施設の構造や工法の変更等					
・新技術新工法の積極的活用、建設副産物対策及び橋梁架設工法の見直し等によるコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針の決定理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。